

彫塑と暮らしについて見る聴く触れる1ヶ月



写真：1962.8.20 アトリエにて「裕」と妻(撮影：長沼 孝三)

2020
10 / SAT 3 ▶ 11 / TUE 3

彫塑 と 暮らし の 月間

彫塑と暮らしの月間

かつて芸術文化は生活の中に自然に溶け込み親しまれ、特に長井は文化活動が盛んな地域として知られていました。しかし近年は展覧会に足を運んだり、家に作品を飾ったり、自ら制作・発表するなどの活動が縮小し、貴重な作品や文化財が散逸し処分されるなど、地域が育ててきた文化の消失が危惧されています。文教の杜ながいでは、芸術文化と日常の暮らしとのつながりを探りながら多くの人々が芸術文化に親み、地域やそこの暮らしがより豊かに彩られるよう、およそ1ヶ月にわたり展覧会や体験会などの事業を開催致します。

期間中開催される

6つのイベント

期間中アンケートにご回答頂いた方に記念品をプレゼント

●小学生以下のお子様は保護者の方と一緒にご参加ください

展覧会

長沼孝三と 日本文化

西洋美術と一線を画す表現を模索した長沼孝三作品を日本文化との関連から考察。解説パネルを中心に展示。

日時 10月3日(土)～11月3日(火)
会場 丸大扇屋 新座敷
料金 無料

展覧会

長井高校写真部とつくる 彫塑と写真の展覧会

長沼孝三が愛した郷里長井の風景写真と彫塑作品を組み合わせ、作品の理解を深める展覧会。

日時 10月半ば～11月3日(火)
会場 長沼孝三彫塑館
料金 下記入館料を参照
講師 船山裕紀氏
(フリーフォトグラファー)

●展覧会の日時はホームページ等でご案内致します。

ワークショップ

木彫りで小さな スプーンをつくろう

彫刻刀を用いてスプーンを制作し、芸術と暮らしのつながりを体感するワークショップ。

日時 10月11日(日)
13:00-16:00
会場 小桜館
料金 500円(材料費)
定員 10名/要申込み
講師 矢口哲也氏
(tetteKOBO主宰)

ワークショップ

からだと彫塑の クロッキー会

長沼孝三作の人体像と生きたモデルを描画し、長沼芸術の理解を深めるワークショップ。

日時 10月18日(日)
午前の部 10:00-12:00
午後の部 13:30-15:30
会場 長沼孝三彫塑館
料金 入館料+材料費 200円
定員 各6名/要申込み
講師 松崎綾子氏(日本画家)

ワークショップ

銅の板を叩いて ペンダントをつくろう

身体を飾る銅板ペンダントを制作し、芸術と暮らしのつながりを体感するワークショップ。

日時 10月25日(日)
13:00-16:30
会場 小桜館
料金 500円(材料費)
定員 10名/要申込み
講師 荒川孝氏(銅板作家)

トークショー

彫塑と暮らし

日本文化と芸術とのつながりや、これからの芸術と暮らしのあり方について考察するトークショー。

日時 10月31日(土)
14:00-15:30
会場 長沼孝三彫塑館
料金 無料(東北文化の日)
講師 深井聡一郎氏
(彫刻家/東北芸術工科大学教授)
吉賀伸氏
(彫刻家/東北芸術工科大学准教授)

長沼孝三彫塑館 入館料

入館料	大人	中高生	小学生
一般	300円	200円	100円
団体(20名以上)	240円	160円	80円

- 丸大扇屋と小桜館は入場無料
- 10月31日[土]、11月1日[日]は東北文化の日につき入場無料

同時開催

収藏品展 ココロの形【小ケース展 長沼孝三に届いた丑年年賀状】
作家の思想が表現された「怪」シリーズを中心に展示
会場 | 長沼孝三彫塑館

暮らしを彩る 日本画家・池田秧青展
長井出身の日本画家・池田秧青の掛軸などを展示
会場 | 丸大扇屋 内蔵・新蔵